



あなたが大切！

さきがけ新聞に「さまようクマ」という記事が連載されているのをご存知でしょうか。今、クマによる被害、また、目撃情報が頻繁に新聞に掲載されています。人が生活する領域にまで、クマが入ってきている一方で、私たち人間も、クマが住処とする所に入っているのが現実です。動物と人間の共生は、なかなか難しく一筋縄ではいかないと感じます。

さて、わたしの自宅の庭には、頻繁に訪れるキジをはじめとして、カモシカ、タヌキ等の動物がやってきます。(決して、山の中の住宅ではありません・・・) どの動物も、一生懸命、何かを食べながら移動し遠ざかって行きます。

カモシカとは、目と目が合い、お互いに微動だにしないまま、一瞬時間が止まった感じになります。それでも、悠々と通りすぎていきます。我が家に毎日のように訪れるキジは、ファミリーで訪れることもしばしばあります。特に、風の強い日は避難してきたかのように、木の下で身を潜めています。カラフルな色が雄、地味な色？雌。色が極端に違うのもきっと意味があることでしょうかね。キジの子どもは、みんなお母さんと同じ色の茶系。身を守るための地味な色になっているのでは？



キジの子どもがとことこ歩く姿はとてもかわいく、思わず見とれてしまう程です。あちこち歩き回る5羽の子どもを、お母さんは、遠くから時々振り返ったり、戻ったり。子育ては人間も動物も同じ、とあらためて思います。子どもを危険から守るために、お母さんのキジは、キョロキョロしながら移動。かわいい我が子を守るために、必死なお母さん



キジの様子がかがえました。今頃、5羽のキジの子どもたちがすくすく育ち、独り立ちしているのかと勝手に思いを馳せています。今年も、かわいいキジの赤ちゃんに会えることを楽しみにしています。子どもが明るく、元気に育つのは、近くにいる親・家族が「あなたが大切！愛おいしい！」と思って生活できていることが、子どもの成長には欠かせない要因であると思います。その基盤の上に学校生活があります。ずっと近くにいる人の温かい笑顔や、言葉がけ、見守りから安心感が生まれ、活動の源になっていきます。これからも家庭と連携しながら、生徒一人一人にとって、学校は、居心地のいい場所でありたいと思うと共に、一人一人に寄り添っていきたいと思います。

(高等部主事 館山百合子)

高等部1年 校内実習

就労支援センターこまちさんの銅線外し作業



サービス班：窓清掃、畑の手入れなど



高等部として初めての実習を5月28日から2週間経験しました。生徒それぞれの進路希望や実態、身に付けたい力に合わせて2つのグループに分かれ、作業に取り組みました。委託された作業に責任感をもって取り組み、達成感を感じたグループ。依頼を受け、多様な状況の中、作業に取り組み、自己有用感を高めたグループ。たくさんの学びがありました。事後学習では、この後の学校生活で頑張りたいことを確認しました。11月に予定されている現場実習に向けて、お互いを認め合い、高め合いながら切磋琢磨していきます。

高等部2年 前期現場実習



木材の裁断
(北日本ボード工業)

お菓子の箱詰め
(飯田川つくし苑)



お菓子のラベルシール切り
(白樺)

5月28日から6月8日までの10日間、現場実習を行いました。一人一人が具体的な目標を立てて新しい職場での実習に臨み、多くの生徒が目標を達成することができました。実習の振り返りでは、できたこと(成果)、できなかったこと(課題)の確認を行い、自分の力を知る機会となりました。また、1年生のときは違う職場を経験したことは、自分にはどういった仕事に向いているのかを考えるよい機会にもなりました。

実習は、日頃培ってきた力を発揮する場です。身に付けた力をより確かなものにできるよう、普段から目標をもって生活することが大切です。

【高等部2年 前期現場実習協力事業所】

ふきのとう、飯田川つくし苑、南秋つくし苑、小又の里、潟上天王つくし苑、就労支援センターこまち、スクラムこまどり、やまどり、いとく自衛隊通店、北日本ボード工業、秋田ホーセ、ショートステイ松の杜、緑光苑、白樺天王グリーンランド、明成園、秋田ダイハツ土崎店、クローバー、大潟つくし苑、すまいる、山王電気製作所

「現場実習」とは・・・

現場実習は、「作業学習の一部、またその発展」として位置付けられています。しかし、現場実習では、学校で学んだ内容に加えて、家庭などで身に付いた力も求められます。また、学校や家庭で培った力を現実的な条件下で試し、実習を通じて課題を明らかにするという側面があり、「日常生活を含んだ学校生活全般についての力試し」と捉える考え方もあります。

目的

働くことの
意義を知る

職業生活に必要な知識や技能・態度を身に付ける

将来の生活についてのイメージをもつ

生活や加工、流通等の仕組みを知る

仕事には多様な側面があることを知る

様々な職業があることを知る

自己の能力や特性を知る

正しい理解のもとに進路選択をする

雇用相談の環境として評価を受ける

新しい環境に適応し、知識・技能を高める

卒業後の進路先への適応を図る

「働くために必要な力」は、実習先だけで培うものではありません。役割活動や手伝いなど、普段の生活を振り返り、生活技能やコミュニケーション能力を向上させながら、「分かる」「できる」「認められる」経験を積み重ねることが大切ですので、今後も御家庭の御協力をよろしくお願いします。